

5年にわたり高度技能者を育成 大手の定年退職技術者が指導

ATACひろしま

大手企業の定年退職技術者らが中小製造業の課題解決を支援するNPO法人ATACひろしま（西区横川新町8-25県鑄物会館ビル内、米田高三理事長）は、5年間にわたって高度な技能者を育成する新事業を始め、1社と契約した。支援機関で同長期間の指導は珍しい。

同NPOのメンバーは、マツダや三菱重工業、日本製鋼所などを定年退職した技術者や大学名誉教授ら正会員約30人、登録者約30人の計約60人。2017年度開始の長期育成事業では、半導体関連部品や産業用FA機器の製造会社と契約し、週2回の現場訪問と指導を5年間行う。製造工場の自動化やIoT（モノのインターネット）が進展する中、企業単独では難しい、ハイレベル設計技術者の育成を図る。同年度に広島市から「多面的企業力向上研修会」の実施者に選定。市が16年結成の経営者会に参加するメンバーのうち、希望のあった12社を同NPOが支援する。技能面だけでなく、対象企業の中核技術を明確にした上で経営計画などに踏み込んだ

アドバイスを行う。また、従来の東友会などからの講師依頼に加え、同NPO主催のセミナー事業を開始。「現場の電気知識」や「図面の読み方」をテーマに3回実施した。

16年度からはちゅうごく産業創造センターの「産業用ロボット導入促進事業」を受託。現在、支援先28社のうち10社に生産設備自動化などの提案を行い、3社で実現した。主力事業のものづくり技能者育成では、さまざまな分野の技術製品開発や生産品質管理、販路拡大、IT活用、補助金申請などの支援に当たっている。☎0501116016893。